

グローバルリーダー育成海外短期研修事業【美術・工芸部門】派遣決定

10月24日、県教育委員会より「平成28年度グローバルリーダー育成海外短期研修事業【美術・工芸部門】」派遣選考結果が届きました。

応募者多数、実力伯仲、高レベルの中、見事浦崎未羽さん(1-1)、伊集愛美さん(2-4)が来年1月の県費でのオーストリア ウィーン研修派遣の切符を手にししました。

一次選考通過者13校44名のうちの最終合格者数20名に入ったこと、かつおそらく普通科で1校から2名の合格者が出たことは大変素晴らしい快挙だと思います。

2人は、2次選考会において、絵画分野でエントリーし「沖縄を表現する」としたテーマで平面作品を制作、さらに面接において作品の説明と研修へ向かう態度・意欲・動機について厳しい審査を通過したのです。

2年生の伊集さんは、結果が届いたとき高等学校総合文化祭に出品する作品に取り組んでいたそうです。「母が電話をとり報告を受けた瞬間は実感が湧きませんでした。次第に嬉しさがこみ上げてきました。事前研修があっただけで忙しくなりますがめったにないチャンスなので楽しんでできるように頑張りたいです」と、1年生の浦崎さんは「合格がわかってほっとしました。同時に研修の予定がずらりと並んだ書類を見て気を引き締めて挑もうと心に決めました。そして、ウィーンでは沖縄では学べないことを直接体験しながら学びたいです」とありました。

本プログラムは、グローバルな視点を持った世界で主体的に活躍できるリーダーを育成する基礎作りを図るために、県教育庁文化財課が実施するものです。選考された生徒達は、来年1月5日から12日の派遣までの間、事前研修や作品制作などの学習や訓練が待っています。沖縄県の代表としてG高の誇りを胸に頑張りたいです。

指導した比嘉尚子先生は「2人とも、こつこつ頑張っている生徒です。限られた時間の中で、2次選考会の課題制作に初めてのパネル張りから苦心していました。さらに派遣までの間研修等がありますが、是非将来に向けて貴重な体験にして欲しいと思います」とありました。

先生は4月に本校に赴任し、授業で制作された作品等を校内に展示、また風景画の課題では校内のコンクールを実施するなど積極的な学習プログラムを展開しています。生徒の美術への意欲・関心を高めるため、自らも学びな

からの熱心な姿勢には頭が下がります。先生がこの研修を知ったときの一声「私が行きたーい!!」でした。



左 浦崎未羽さん(1-1) 右 伊集愛美さん(2-4)

